

## 活動報告

開催日	報告内容
2022年 12月3日	パブリック・ドメイン研究会（オンライン） Ryan ABBOTT (Professor, University of Surrey School of Law) “Artificial Intelligence and the Future of Creativity and Innovation”
2022年 12月12日	パブリック・ドメイン研究会（対面及びオンライン） 場所：東京大学 Xuan-Thao NGUYEN (Professor, University of Washington School of Law) “Financing Innovation: History, Theories and Practices”
2022年 12月17日	パブリック・ドメイン研究会（オンライン） Sapna Kumar (Professor, University of Houston Law Center) “Access to Medicine During Pandemics: Is Compulsory Licensing of Patents the Answer?”
2023年 1月31日	パブリック・ドメイン研究会（オンライン） 李 遠杰（東京大学大学院法学政治学研究科研究生） 「アメリカ合衆国におけるアプロプリエーション・アートとフェア・ユース」 ※詳細については、本誌本号掲載の論文を参照されたい。
2023年 2月18日	パブリック・ドメイン研究会（オンライン） 劉 楊（東京大学大学院法学政治学研究科修士課程） 「ノーティス・アンド・テイクダウン手続きに関する比較法的考察—インターネット上の著作権侵害を中心に—」 ※詳細については、本誌に掲載予定の論文を参照されたい。
2023年 2月24日	パブリック・ドメイン研究会（オンライン） 鮑 妙堃（東京大学大学院法学政治学研究科修士課程） 「スコアを無断複写する行為の不法行為該当性を否定した事例（東京地判令和3年9月28日判決）」 ※詳細については、本誌本号掲載の評釈を参照されたい。
2023年 3月8日	パブリック・ドメイン研究会（オンライン） 山根 崇邦（同志社大学法学部教授） 「営業秘密を抽象化・一般化した技術情報の開示と刑事罰—愛知製鋼磁気センサ事件を契機として」

<p>2023年 3月18日</p>	<p>パブリック・ドメイン研究会（オンライン） 橘 雄介（福岡工業大学社会環境学部助教） 「被疑侵害製品が侵害に必要な他の製品と機能的一体不可分な構成で、特許発明の『ためのもの』だとして、多機能型間接侵害を肯定した事例（知財高判令和4年8月8日平成31年（ネ）10007号 [ラダー回路]）」</p>
<p>2023年 3月20日</p>	<p>パブリック・ドメイン研究会 (International IP Workshop for Junior Researchers) (対面及びオンライン) 場所：東京大学 李 遠杰（東京大学大学院法学政治学研究科研究生） “Copyrightability and the Scope of Protection Concerning Readymade Works in Postmodern Art under Japanese Copyright Law” 周 洪騫（早稲田大学大学院法学研究科博士課程） “Reconsidering the Right of Communication to the Public and the ‘Umbrella Solution’” 森 綾香（早稲田大学大学院法学研究科修士課程） “A Comparative Analysis of the Role of the ‘Product’ in Design Law” 吳 子迪（北海道大学大学院法学研究科博士課程） “Bolar Exception and Research Exception: A Consideration of the Necessity for Separate Legislation from the Perspective of Japan-China Comparison” Qi Jun KWONG (Regional Legal Counsel (JAPAC), Oracle Corp. Malaysia) “Can the Unitary Patent System and UPC be a Model for ASEAN?” 邱 紫雁（華東政法大学特別研究員） “Reconsidering the Reasonable-royalty Approach for Patent Damages” 謝 德堃（神戸大学大学院法学研究科博士課程） “Reviewing of Punitive Damages in Intellectual Property Infringement in China” Rovshan NAMAZOV（金沢大学大学院人間社会関係研究科博士課程） “Establishment of Advance Passenger Information (API) and Passenger Name Record (PNR) Security Systems in Azerbaijan and Development of Azerbaijan's New Detection</p>

	Capabilities by Using Travel Information—Comparative Analysis of Benchmarking Experiences”
--	--